

# 体表温検知システム

## 基本設定マニュアル

AI 体温検知システム < サーマルウォッチャー >

# Thermal Watcher



## 設置準備

Thermal Watcherは人や物が発する目に見えない赤外線を検出して温度を計測するサーマルカメラシステムです。対象物とサーマルカメラの「距離」や「角度」、温度環境などが変化すると計測値が変化する場合があります。そのため、可能な限り測定場所を固定し、対象者は一定の距離で測れるようにしてください。

### ● 被写体との距離

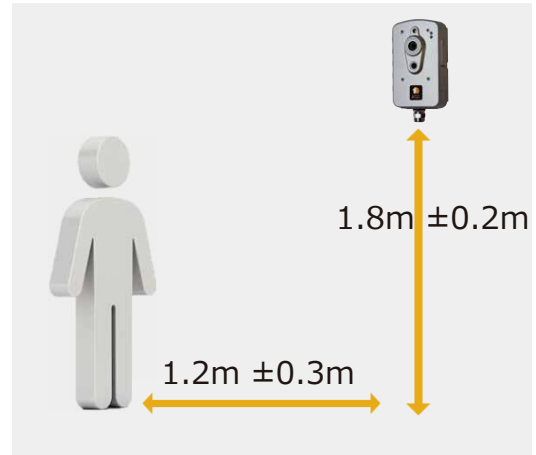
1.2m  $\pm$ 0.3m の距離で撮影出来るようにしてください。

### ● カメラの高さ（推奨）

1.8m  $\pm$ 0.2m

### ● 設置

カメラ背面の三脚ネジ穴を使用し、三脚・フィクサー等でカメラを固定します。



- カメラ設置場所と測定対象の間の気温が安定しないような場所への設置は避けてください。
- 鏡やガラスに対向しての設置は避けてください。

## 環境設定 1

電源ONの後、環境温度が正確に表示されるまで約 1 5分かかります。

- 1) 設置場所を決定したのち、電源をONにして何も熱源のない状態で動作（約 1 0分）させておきます。（測定場所を変更した場合は再度同じ動作を行ってください。）
- 2) その後、カメラケーブル部の「キャリブレーションボタン」を使用する事で、設置環境に適した温度表示が行えます。「キャリブレーションボタン」押下後、画面にイニシャル表示がされ自動調整が行われます。画面からイニシャル表示が消えればキャリブレーション完了です。

キャリブレーションの実行中は、なるべくサーマルカメラの測定エリアに人間が入らない状態で実行することを推奨いたします。



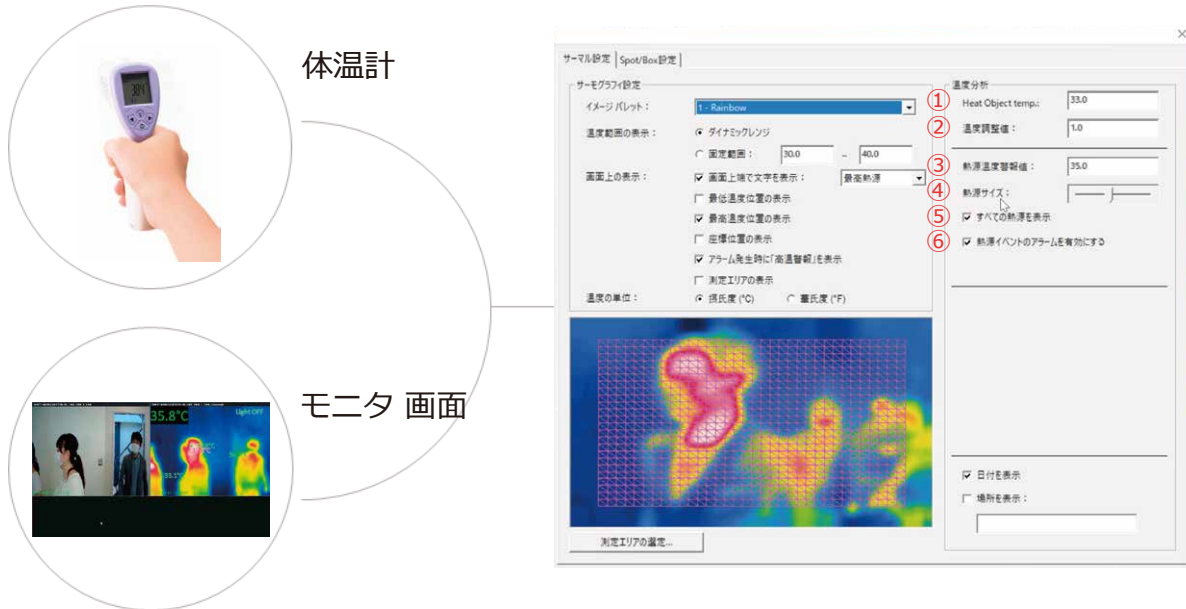
■ キャリブレーションボタン

## 環境設定 2

キャリブレーション後、画面上での温度表示に関する補正を行います。

画面を右クリックして【サーマル設定】を選択します。

この画面で体温計で測定した体温とモニタ画面上に表示される温度との差異補正を行います。



### ① Heat Object Temp

熱源として認識させる温度の最低値を設定する値

ここに35.0もしくは35.5をセットしておけば、最低値より低い温度を表示することはなくなります。

### ② 温度補正值

最初に医療系の非接触体温計で特定の人額で温度を測定し、この温度が36.5度の時に画面表示が34.5度であれば②の温度補正值を2.0にして補正します。

### ③ 熱源温度警報値

高温警報の音・表示のための閾値の設定です。

### ④ 熱源サイズ

警報の対象とする熱源の面積を調整するスライダです。

### ⑤ すべての熱源を表示

チェックボックスONにすると、画面内で熱源として検知したもののすべての温度を表示します。チェックボックスOFFの場合は最高温度の熱源の温度のみを表示します。

# トラブルシューティング

～おかしいなと思ったら～

## Q. 映像が表示されない

**A.** NVRにLANケーブルが接続されているかご確認ください  
(正しく接続されている場合、LINKランプが点滅します)。  
また、サーマルカメラの電源はONになっていますか。  
ONでも映像が出ない場合は、サーマルカメラの再起動を行ってください。

## Q. フリーズなどNVRの動作に問題が発生した

**A.** NVRを再起動して、改善されるかお確かめください。

## Q. 体温計で計測した温度と大きな差がある

**A.** サーマルカメラの「キャリブレーション」ボタンを押し、確認してみてください。  
それでも大きな差がある場合は、  
NVR側で〈右クリックメニュー〉→〈サーマル設定〉の手順により、  
温度調整値の値を調整してください。

## Q. 時間の経過とともに表示温度が大きく変わる

**A.** 環境要因が考えられます。サーマルカメラの「キャリブレーション」ボタンを、  
朝・昼・夕方など時間の経過に合わせて押し、調整することをおすすめします。  
改善されない場合は、NVR側で〈右クリックメニュー〉→〈サーマル設定〉  
の手順により、温度調整値の値を調整してください。

## Q. 同時に複数人の体温検知をすると温度が表示されない

**A.** 人物が重なっていると検知できない場合があります。  
また、サーマルカメラと人物の距離が離れている場合は、温度が低く表示されます。  
NVR側で〈右クリックメニュー〉→〈サーマル設定〉→〈Heat Object temp〉  
の手順により、表示温度の設定を行ってください。

## ご使用にあたっての注意点

**Thermal Watcher は医療器具ではありません。  
体表面温度を計測し、検温を促すサポートとしてお役立ていただくシステムです。**

**Thermal Watcher を使用することによってウイルス感染を防止したり、  
感染者を減らしたりすることはできません。  
導入後に感染者が発生しても、弊社は一切の責任を負いません。**

サーマルカメラ設置後10～15分ほど経過したら、  
「キャリブレーション」ボタンを押して調整してください。

気温などの環境変化によって表示温度が影響を受ける場合があります。  
朝・昼・夕方など、1日の間で複数回、  
「キャリブレーション」ボタンを押して調整することをおすすめします。

Thermal Watcherは屋内の安定した温度環境・無風環境にてご使用ください。  
屋外での設置・使用は不可です。逆光を受ける場所や温度変化が激しい環境下では、  
計測値が大きく変動する可能性があります。

サーマルカメラの測定対象の背景に鏡やガラス窓のない場所に設置することを推奨します。  
背景にガラスや鏡のある場合、体温測定の精度が悪くなる場合があります。

できる限り人物が静止した状態で測定してください。

同時に複数人を測定する場合は、  
人が重ならないような位置にサーマルカメラを設置してください。

ストーブなど熱源が干渉しない位置に設置してください。

サーマルカメラと人物の距離が離れるほど、温度は低く表示されます。  
サーマルカメラと人物の距離が近づくほど、温度は高く表示されます。

管理ソフトはWindowsの時刻に連動しているので、  
時刻にズレがある場合はWindowsの時刻を調整してください。